

最近の管内経済概況

(2021年6月の経済指標を中心として)

～ **新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるが、
一部に持ち直しの動きがみられる** ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、緩やかに持ち直している。
- 個人消費は、持ち直しの動きに弱さがみられる。
- 観光は、低迷している。
- 公共工事は、増加している。
- 住宅建設は、持ち直しの動きがみられる。
- 民間設備投資は、増加している。
- 雇用動向は、弱い動きがみられる。
- 企業倒産は、件数、負債総額とも減少している。

全体として、管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる。

なお、先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※ 下線部は、前月から判断を変更した部分。

2021年8月16日

照会先 : 経済産業省 北海道経済産業局
総務企画部 企画調査課

T E L : 011-709-2311 内線 2525

E-mail : hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

U R L : <https://www.hkd.meti.go.jp>

管内経済概況判断の推移

(2021年8月現在)

発表月	2021年3月	4月	5月	6月	7月	8月	前月との判断比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、持ち直しの動きに弱さがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、持ち直しの動きに弱さがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあり、持ち直しの動きに弱さがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる	新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるが、一部に持ち直しの動きがみられる	
生産活動	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	
個人消費	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	持ち直しの動きに弱さがみられる	
観光	悪化している	悪化している	一部に下げ止まりの兆しがみられる	一部に下げ止まりの兆しがみられる	低迷している	低迷している	
公共工事	減少している	減少している	増加している	減少している	増加している	増加している	
住宅建設	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	
民間設備投資	減少している	減少している	減少している	減少している	増加している	増加している	
雇用動向	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	弱い動きがみられる	
企業倒産	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも増加している	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも減少している	件数、負債総額とも減少している	

※下線部は、前月から判断を変更した部分。

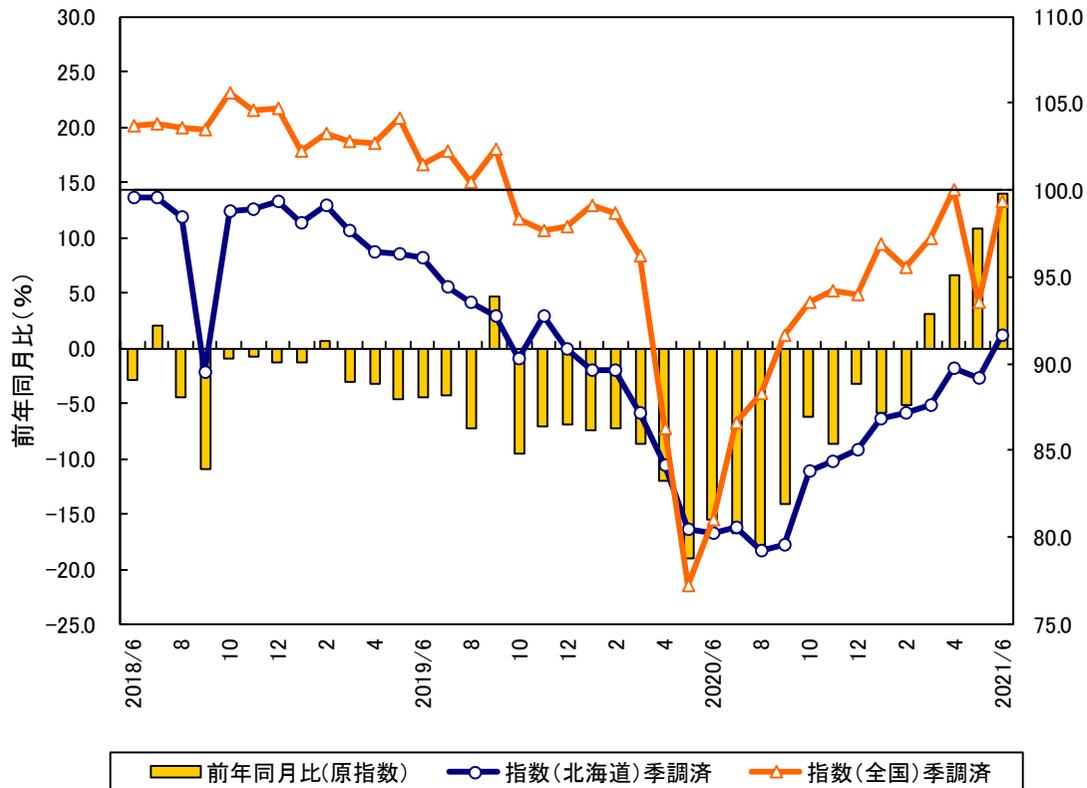
上方修正 据え置き 下方修正

生産活動 ～ 緩やかに持ち直している ～

6月の鉱工業生産は、前月比+2.7%と2か月ぶりに上昇した。上昇業種は、輸送機械工業など9業種となった。低下業種は、パルプ・紙・紙加工品工業など6業種となった。

< 6月 >	
季節調整済指数	
北海道 (速報)	91.6 (前月比+ 2.7%)
全国 (速報)	99.3 (前月比+ 6.2%)

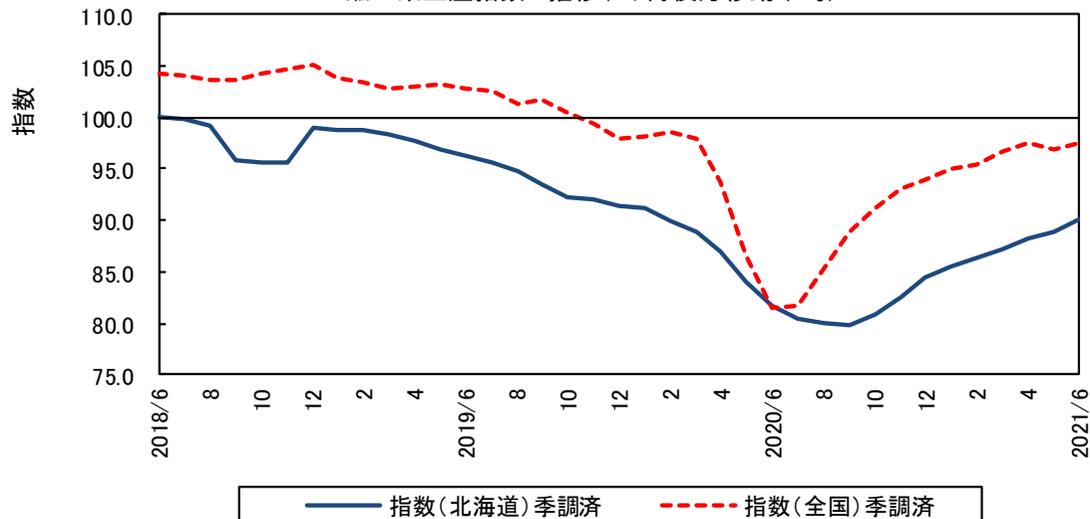
鉱工業生産指数 (2015年=100.0)



【ヒアリング内容】

- ・5月までは橋りょうの生産が少なかったが、6月は例年並みに戻ってきた。(金属製品工業)
- ・巣ごもり消費によりスーパーなどからの需要が好調なため、冷凍水産物の生産が増加した。(食料品工業)
- ・7月の定期修理に向けて、5月に在庫積み増しを行ったので、6月の印刷用紙の生産は減少した。(パルプ・紙・紙加工品工業)
- ・新型車向けの自動車部品の供給が増えたことから、生産が増加した。半導体不足などの大きな影響はなく、7月以降も好調に推移する見込み。(輸送機械工業)

鉱工業生産指数の推移(3ヶ月後方移動平均)



(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

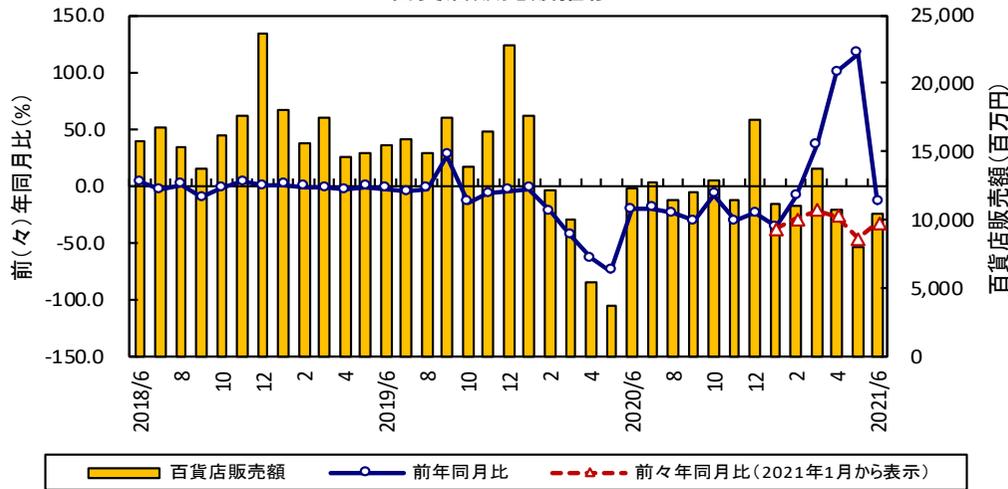
個人消費 ～ 持ち直しの動きに弱さがみられる ～

6月の個人消費は、コンビニエンスストア、新車販売は前年を上回ったものの、他の業態は前年を下回った。

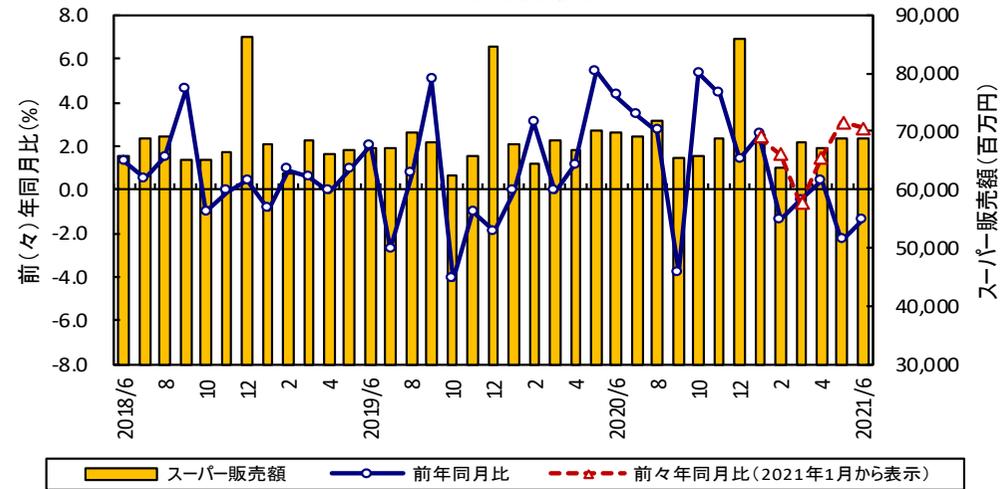
※前々年同月比は、北海道経済産業局「北海道百貨店・スーパー販売動向」掲載の販売額などから算出。

- 百貨店は、緊急事態宣言に伴う臨時休業などがあったことにより、前年同月比▲14.5%（前々年同月比▲32.1%）と4か月ぶりに前年を下回った。
- スーパーは、飲食料品が堅調だったものの、衣料品などが前年を下回り、同▲1.4%（同+2.8%）と2か月連続で前年を下回った。
- コンビニエンスストアは、同+0.5%（同▲2.2%）と4か月連続で前年を上回った。

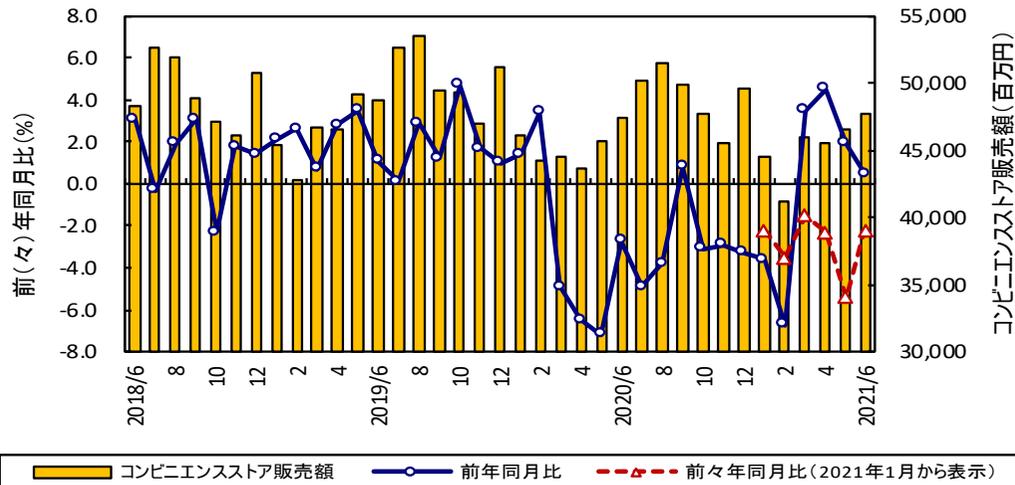
百貨店販売額推移



スーパー販売額推移



コンビニエンスストア販売額推移



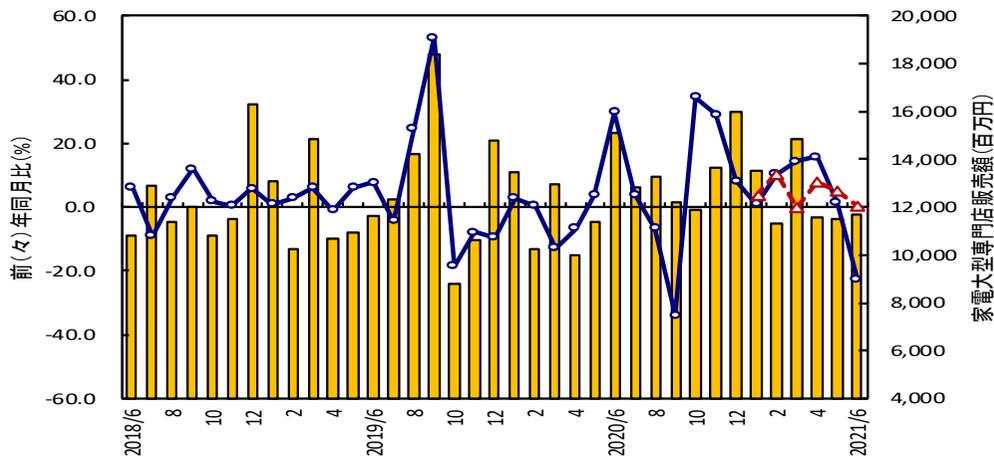
※ 2020年3月に対象事業所の見直しを行ったスーパーの2020年2月以前の販売額については、整合性を図るため調整済み。

【ヒアリング内容】

- 緊急事態宣言期間中、土日に飲食料品など一部の売場を除いて休業していたため、前年よりも売上が減少した。（百貨店）
- 前年は多くの自治体で特別定額給付金の支給が開始されたこともあり、衣料品や生活関連用品が好調だったが、今年はその反動で売上が減少した。一方で飲食料品は堅調に推移している。（スーパー）
- 緊急事態宣言が解除されたことのほか、天候にも恵まれて人出が戻ってきたことから、売上が回復基調にある。（コンビニエンスストア）

- 家電販売は、同▲22.7%（同+0.4%）と9か月ぶりに前年を下回った。ドラッグストアは、同▲1.4%（同+3.6%）と2か月連続で前年を下回った。ホームセンターは、同▲4.3%（同+12.5%）と2か月連続で前年を下回った。
- 新車販売は、同+0.3%（同▲24.2%）と4か月連続で前年を上回った。

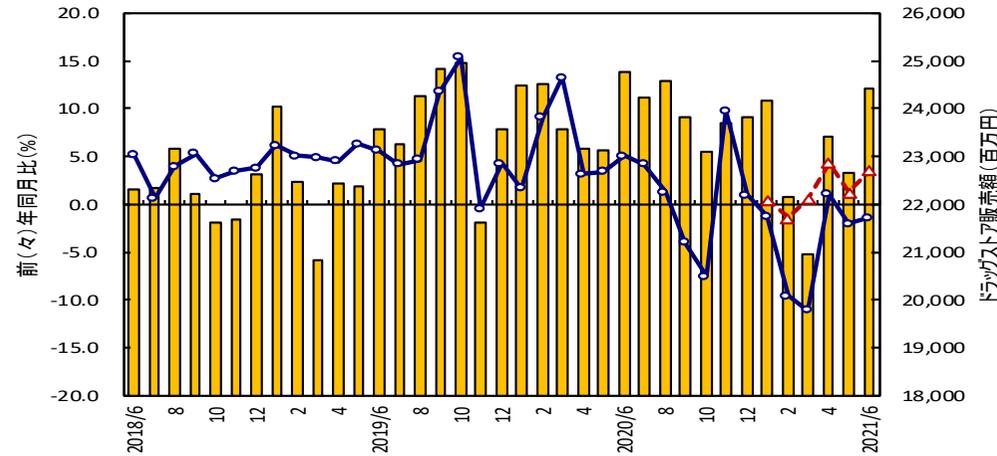
家電大型専門店販売額推移



■ 家電大型専門店販売額 ● 前年同月比 - - - ▲ 前々年同月比(2021年1月から表示)

(資料：北海道経済産業局)

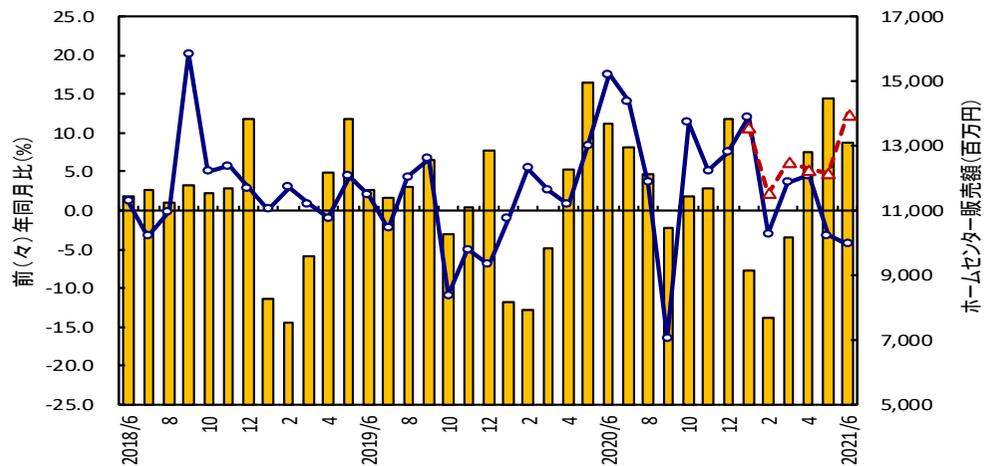
ドラッグストア販売額推移



■ ドラッグストア販売額 ● 前年同月比 - - - ▲ 前々年同月比(2021年1月から表示)

(資料：北海道経済産業局)

ホームセンター販売額推移



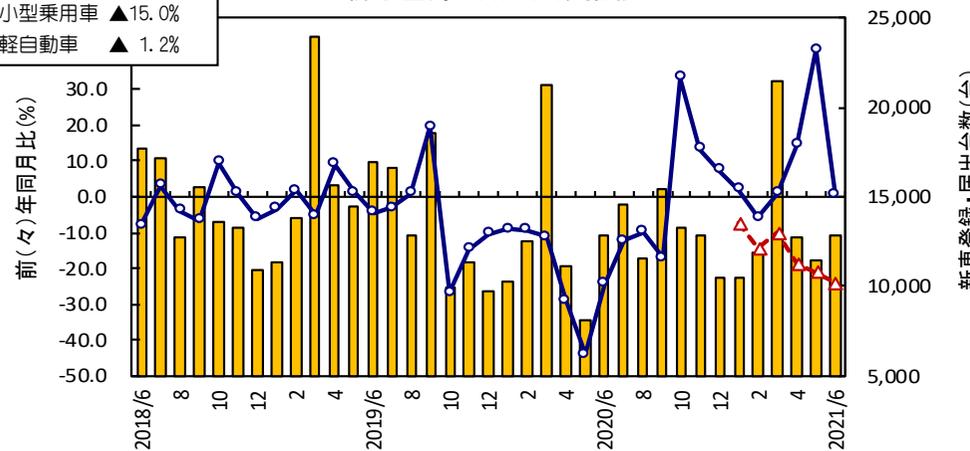
■ ホームセンター販売額 ● 前年同月比 - - - ▲ 前々年同月比(2021年1月から表示)

(資料：北海道経済産業局)

<6月>

普通乗用車 +17.1%
小型乗用車 ▲15.0%
軽自動車 ▲1.2%

新車登録・届出台数推移



■ 新車登録・届出台数 ● 前年同月比 - - - ▲ 前々年同月比(2021年1月から表示)

(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

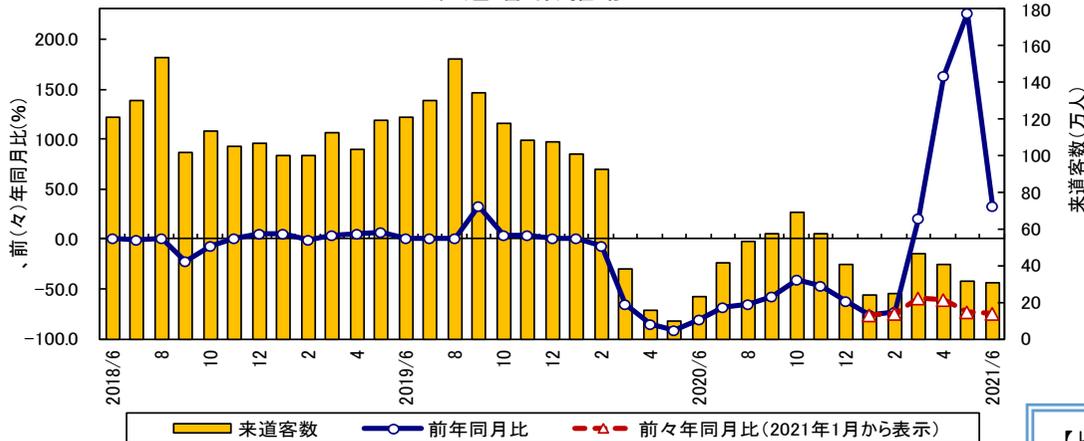
【ヒアリング内容】

- 前年は特別定額給付金の支給により、大型家電を中心に大変よく売れた。今年はその反動で、売上が前年を下回った。（家電大型専門店）
- 緊急事態宣言の影響により、都市部を中心に売上が前年に及ばなかった。（ドラッグストア）
- D I Y 関連が前年に大幅に伸びた反動で売上が減少したものの、現場感覚ではお客の関心は衰えてはいない。（ホームセンター）

観光 ～ 低迷している ～

6月の来道客数は、前年同月比+33.2%（前々年同月比▲74.7%）と4か月連続で前年を上回った。また、道内外国人入国者数は、0人で前年同月と同数となった。

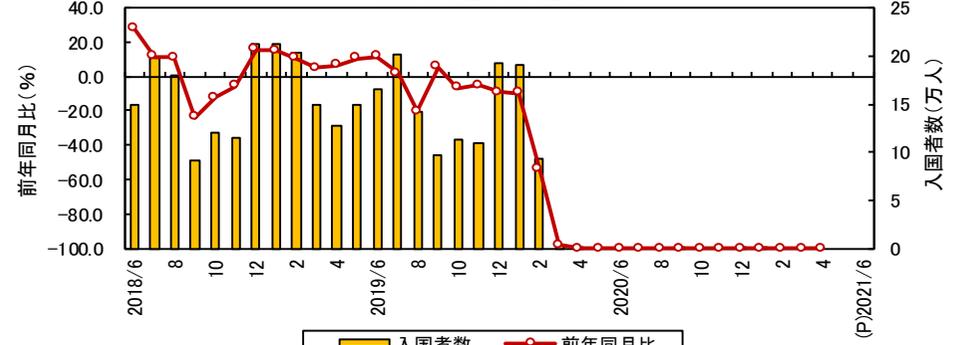
来道客数推移



< 6月 > 来道客数 306,166人（+33.2%）
 ※北海道外から航空機（国内線）、JR（北海道新幹線）、フェリーを利用して来道した旅客数。
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

（資料：（公社）北海道観光振興機構）

道内外国人入国者数



（資料：法務省）

注）(P)は速報値

< 6月 >
 入国者数 0人（- %）

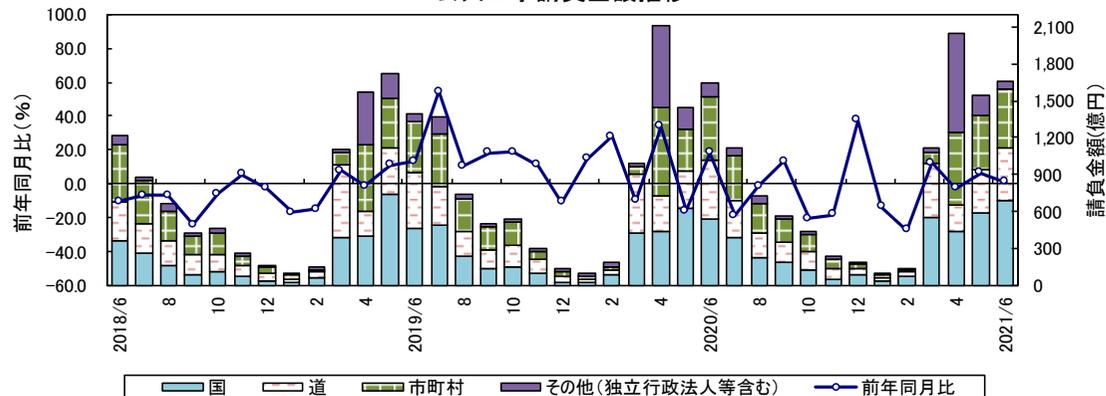
【ヒアリング内容】

- ・緊急事態宣言以降、大半の宿泊施設が休館となり、花火大会などのイベントは中止され、6月の入込客数は厳しい状況であった。7月に入り観光客の姿は徐々に戻りつつあるが、例年の半分程度の状況である。（関係機関）

公共工事 ～ 増加している ～

6月の公共工事請負金額は、道、市町村は前年を下回ったが、国が前年を上回り、前年同月比+1.0%と2か月連続で前年を上回った。

公共工事請負金額推移



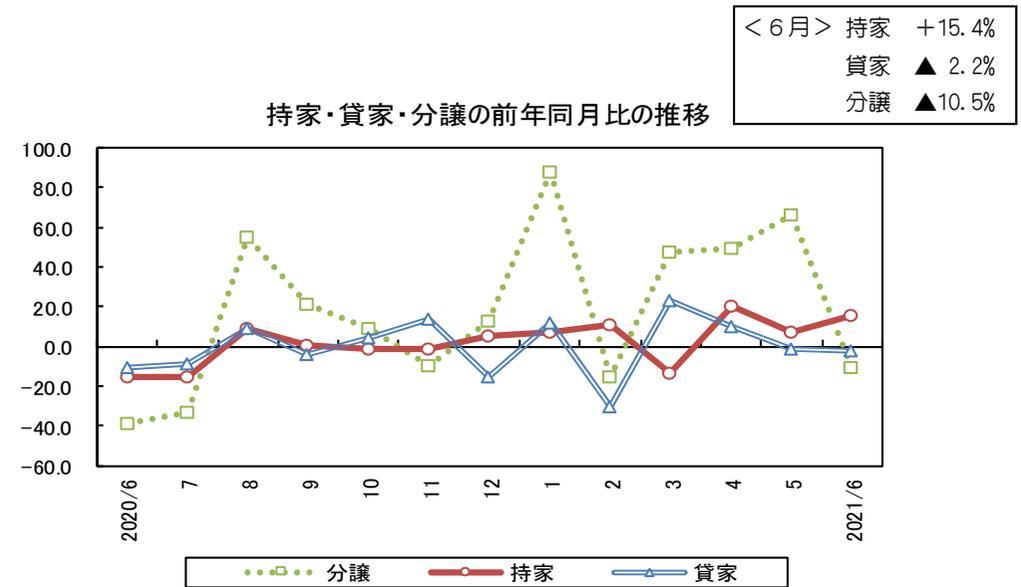
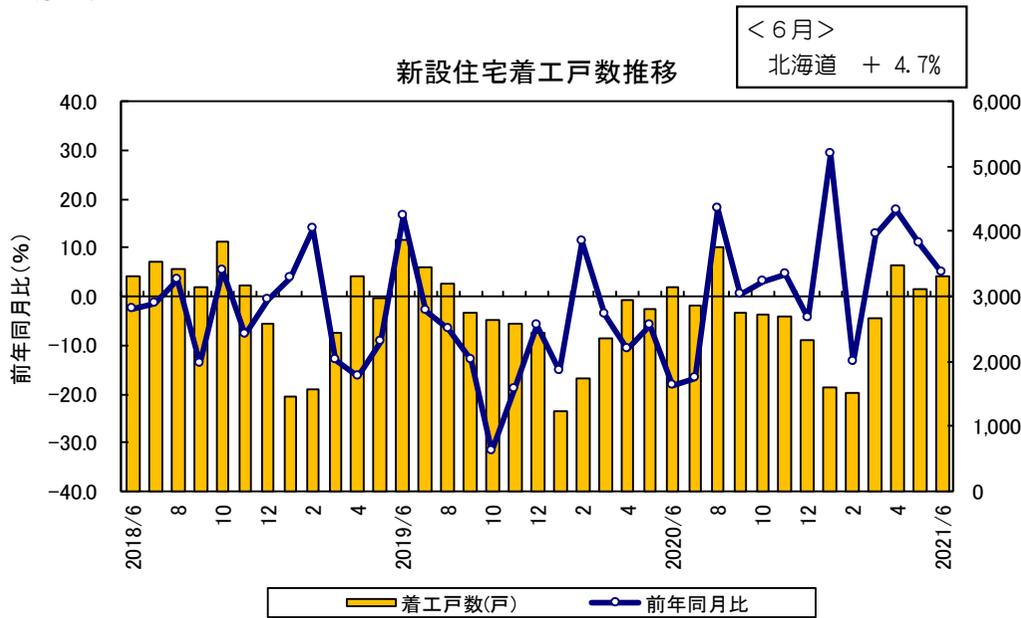
< 6月 >
 北海道 + 1.0%
 （内訳）
 国 +27.9% 道 ▲ 9.8% 市町村 ▲ 8.3% その他 ▲41.0%

（請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額）

（資料：北海道建設業信用保証（株）ほか2社）

住宅建設 ～ 持ち直しの動きがみられる ～

6月の新設住宅着工戸数は、貸家、分譲は前年を下回ったが、持家が前年を上回り、前年同月比+4.7%と4か月連続で前年を上回った。



(資料：国土交通省)

民間設備投資 ～ 増加している ～

2021年度の設備投資計画は、全体で前年度比+4.6%と2年ぶりに前年度を上回る計画となっている。

日銀短観の設備投資動向

2021年7月1日発表

	2020年度	2021年度
北海道	▲ 19.9%	+ 4.6%
製造業	▲ 4.0%	▲ 21.8%
非製造業	▲ 27.5%	+ 21.5%
全国	▲ 8.5%	+ 7.1%

注) 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

注) 北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2021年6月11日発表

	2020年度	2021年度
全産業	▲ 8.6%	+ 0.7%
製造業	▲ 17.7%	▲ 22.8%
非製造業	▲ 2.9%	+ 11.5%

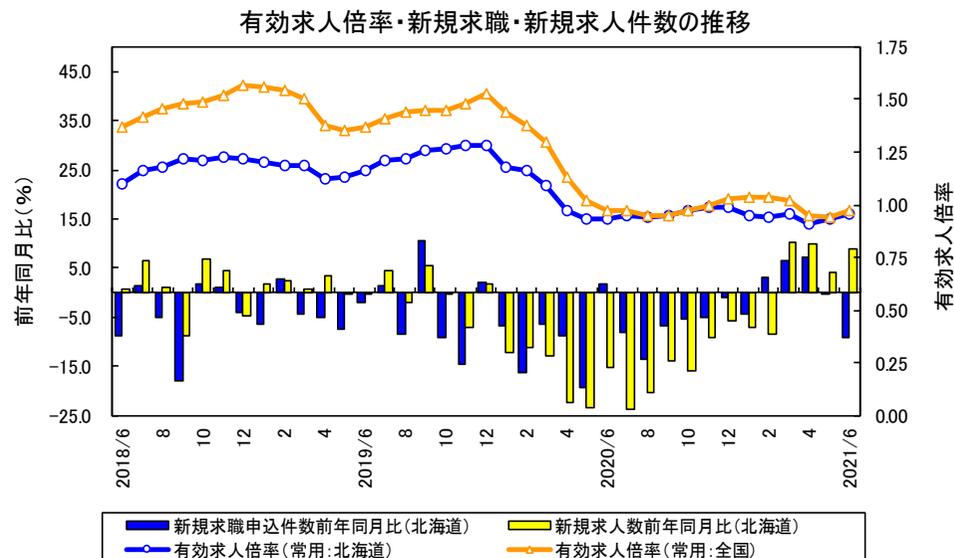
※数値は対前年比増減率。

注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

雇用動向 ～ 弱い動きがみられる ～

6月の有効求人倍率は、0.96倍と前年同月差0.03ポイント上昇し、18か月ぶりに前年を上回った。

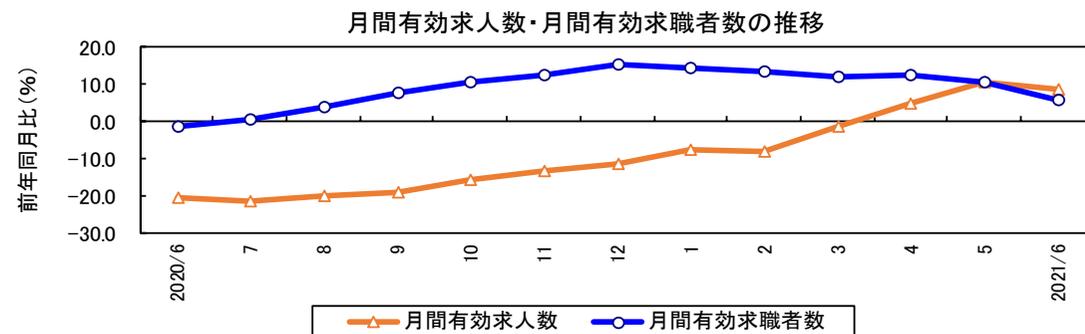


< 6月 >

北海道	有効求人倍率(常用)	0.96倍
	新規求人数(前年同月比)	+ 8.8%
	新規求職申込件数(前年同月比)	▲ 9.0%
全国	有効求人倍率(常用)	0.97倍

< 6月 >

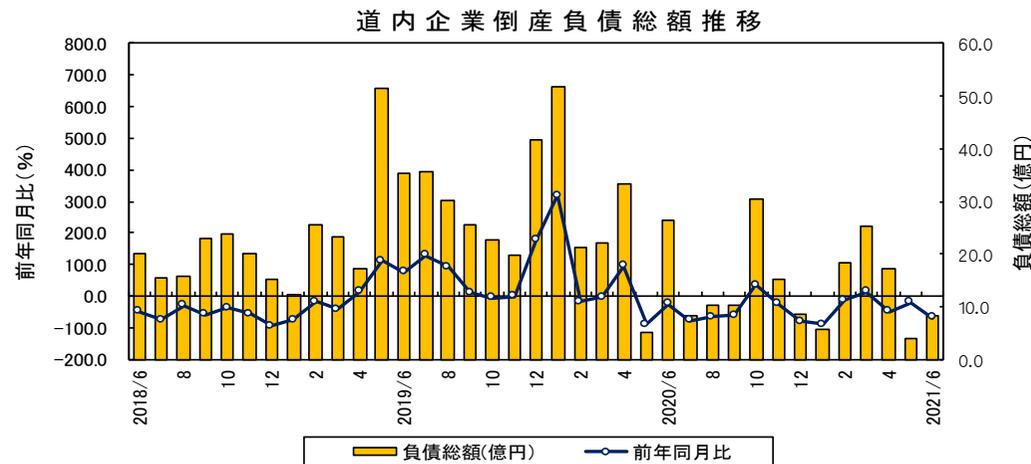
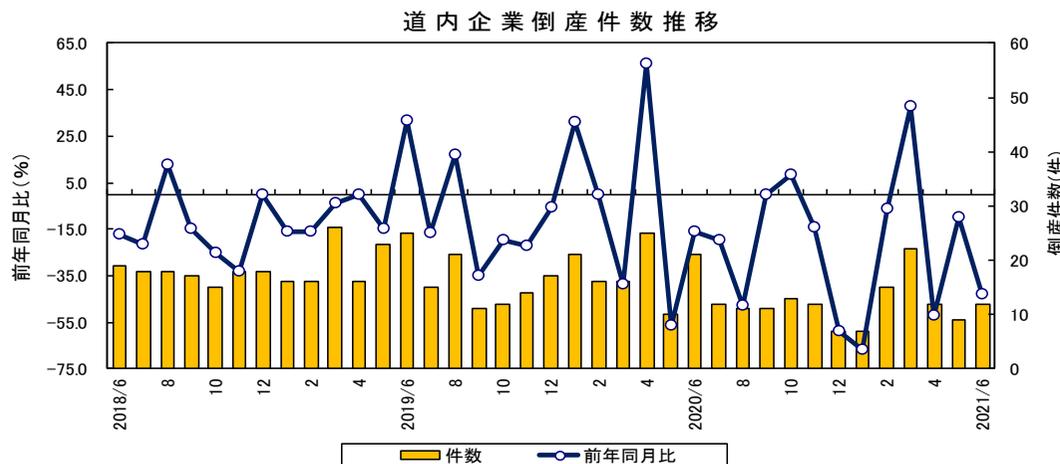
月間有効求人数(前年同月比)	+ 8.7%
月間有効求職者数(前年同月比)	+ 5.8%



(資料：厚生労働省、北海道労働局)

企業倒産 ～ 件数、負債総額とも減少している ～

6月の倒産件数は12件で前年同月比▲42.9%（9件減）、また、負債総額は8.3億円で同▲68.6%と、いずれも3か月連続で前年を下回った。



(資料：(株)東京商工リサーチ)